
解答解説の構成

本解説冊子は、模範解答を作成するために用いた考え方が読者に忠実に伝わるように構成されている。以下、その構成について説明する。丁寧に取り組み、解答につながる考え方を学びとって欲しい。

1. 全体解説

設問構造

図表を用いて設問の関連性を明確にしている。設問が事例の中でどのようにつながっているのかを確認し、事例全体で何が問われているのかを理解して欲しい。

事例整理シート

事例企業のSWOT分析から始まり、戦略の立案やその実行策まで、コンサルティングに必須となる分析プロセスを1枚のシートに落とし込んだ、LECオリジナルのフレームワークである。

2次試験では、事例企業が求めている現状の問題点や成長のための戦略の本質をしっかりと考えることが重要である。事例整理シートは本試験で実際に使用するものではないが、基礎学習期間に活用することで、合格に必要な思考が本試験の80分間で自然に展開されるものである。

2. 模範解答へのアプローチ

模範解答へのアプローチ

どこまで具体的に答えるべきなのか、戦略レベル、オペレーション・レベルのどちらで答えれば良いのか、等、診断士2次試験問題の設問には何を答えたら良いのか考えてしまうものが多い。設問の捉え次第で解答の方向性も違ってくる。設問の題意では解答の方向性を誤らないように何が問われているのかを明確にしている。